

令和2年度事業報告概要

令和2年度におきましては、全世界的に新型コロナウイルスが拡散し、収束時期の予測が不透明で当地域においても経済や観光産業に深刻な被害が生じました。

国の緊急事態宣言において感染拡大防止の観点から4月～5月において2か月弱の施設休館を実施しました。当協会管理運営施設は団体ツアーや国内外の個人客が大半でありその影響も大きく、国の雇調金・持続化給付金、三重県の休業協力金などを活用しました。また伊賀市からも「伊賀市旅得キャンペーン」の展開により三館共通券を買い上げていただくなどコロナ禍の中で大きな支援をいただきました。それに加え来訪されるお客様や職員の安心・安全を優先した対応を行いつつ、事業の見直しや職員の雇用調整をするなど人件費の削減に努めました。新しい生活様式を取り入れるなどコロナの対応策を行っていますが、収束時期の予測が不透明で、国内・インバウンドのお客様の来訪がストップするなど、観光振興事業・情報発信事業など計画しては、中止せざるを得なくなるなど目まぐるしい変更を余儀なくされる状況ではありましたが事業・予算内容を精査し事業を進めました。

国土交通省中部地方整備局が中部地方へ観光客を回遊させる取り組みの「歴まちカードラリー」や、三重県の「スマホでみえ得キャンペーン」などの回遊事業が、3蜜を避けて観光できる内容であり多くのお客様を受け入れました。また、三重県と連携して海外旅行事業社とのオンラインでの商談会へ積極的に参加するなどコロナ後の外国人観光客の獲得に向けた誘客に努めました。

受け入れの取り組みとしては、会員や支部の情報収集と連携強化を図り地域特性を活かした観光振興事業を行いました。また本協会を含めた県内5つの観光協会で実施の「城郭めぐりスタンプラリー」「御城印(城のご朱印)」も好評でした。そして伊賀地域回遊の「忍者ゆかりのご朱印巡り」や、まちなか回遊事業の「伊賀忍者道場」の企画推進、「マチ探」などの体験メニュー、「伊賀牛」を使ったご当地メニュー「伊賀牛炙り丼キャンペーン」など観光客受入態勢の充実を図りました。国の「Go To トラベル」により観光回復の兆しも高まり、教育旅行などの学校団体の修学旅行、社会見学の受け入れ、ボランティアガイドを利用されるツアーのサポートなど数多くの団体の受け入れを行いました。

国(観光庁)が推進している「観光地域づくり法人(DMO)」は、地域が一体となって観光振興を行い最終的には消費活動に繋げていこうとするものです。本協会において、必要なマーケティングを行い、そのデータ分析を様々な関係者と合意形成・情報共有を進めました。本年度は「観光まちづくり企画塾(第2期)」を開催して人材育成・あたらしいお土産物開発や観光庁・文化庁の支援事業を活用しながら、ニューノーマルな旅行スタイルの元、スマホアプリを使った城下町回遊の仕組みづくりやインターネットでのライブ配信をするメニュー作りを進め地域資源を活用した伊賀ならではの魅力あるメニューを造成し、着地型観光や観光振興事業・情報発信事業を進めました。

本年度は大変厳しい運営を迫られ、本協会初めての存続危機であり収益力と運営体力を回復させることを最優先にしつつ新型コロナウイルス収束後の観光客をスムーズに受け入れるスタートが切れるよう準備を進めた年となりました。

しかしながら、その厳しい状況は現在も続いています。本協会会員、役員、職員、関係者が一丸となってこの厳しい事態に耐えて乗り切るべく努力してまいります。

令和2年度事業報告書

1 観光資源の開発及び保存

- | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| (1) 「日本遺産 忍びの里 伊賀・甲賀ーリアル忍者を求めてー」忍びの里伊賀甲賀忍者協議会への参画 | 通年 |
| (2) 忍者(忍術)を生かした誘客事業
・デジタルミュージアム秘蔵の国 伊賀 (デジタルアーカイブ事業)
・文化庁 文化芸術収益力強化事業(おもてなしガイドサービスを活用した新しい鑑賞形態と持続可能なビジネスモデルの構築) | 通年 |
| (3) 伊賀流忍者博物館(忍者屋敷及び忍者ショーステージ)の改修 | 通年 |

総括

忍びの里伊賀甲賀忍者協議会への参画により両地域でしか取り組めない「リアル忍者」事業が行えた。また市と連携で「デジタルアーカイブ事業」により忍者の古文書の公開や伊賀流忍者博物館のオンライン配信を行うなど、世界に向けてのファン層の獲得や今までとは異なった切り口での情報発信を行うなど忍者を生かした事業をコロナ禍において実施する事ができた。

2 観光客の誘致促進

- | | | | | |
|---------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|------------|------|
| (1) 宣伝印刷物の作成配布
ア 観光案内用市内地図 | | 120,000部 | 2021(令和3)年 | 3月 |
| (2) インターネットによる観光情報の発信 | | | | |
| ア 「伊賀流忍者博物館」ホームページ | http://iganinja.jp/ | | | 通年 |
| イ 「伊賀上野観光協会」ホームページ | http://www.igaueno.net/ | | | 通年 |
| ウ 「忍者流忍者博物館」facebookページ | https://www.facebook.com/ | | | 通年 |
| エ 「伊賀上野観光協会」facebookページ | https://www.facebook.com/igaueno22/ | | | 通年 |
| オ 「忍者流忍者博物館」Instagramページ | https://www.instagram.com/igaryu_ninja_museum_official/ | | | 通年 |
| カ 伊賀ポータルによる観光情報や動画の配信 | http://www.igaportal.co.jp/ | | | 通年 |
| キ 「IGA Official Travel Guide」(多言語) | http://www.iga-travel.jp/ | | | 通年 |
| (3) 観光キャンペーンの実施 | | | | |
| ア 伊賀上野のお薦めお昼ご飯キャンペーン | 【資料1 10ページ】 | | | 通年 |
| イ 三館割引共通券(伊賀流忍者博物館・だんじり会館・伊賀上野城)のセット入館券) | | | | 通年 |
| (4) 報道・メディア関係等の取材協力、企業・団体への協力 | | | | |
| ア 観光PR用画像データの収集・貸出 | | | | 通年 |
| イ 報道関係に対する情報発信及び受入 | | | | 通年 |
| (5) 外客の開発 | 【資料7 17ページ】 | | | |
| ア 三重県外国人観光客誘致促進協議会に参画 | | | | 通年 |
| イ 海外プレス及び観光エージェントへの宣伝活動 | | | | 通年 |
| (ア) 忍者パック(広域連携パッケージツアー商品)受入 | | | | 【中止】 |
| (イ) 日本政府観光局(JNTO)SNS【タイ向け】 | | | 2020(令和2)年 | 4月 |
| (ウ) 近畿日本鉄道「台湾宣伝パンフレット 秋」(台湾旅行博覧会等) | | | 2020(令和2)年 | 6月 |
| (エ) 在阪ランドオペレーターファムトリップ(三重県・志摩市観光協会) | | | 2020(令和2)年 | 9月 |
| (オ) 在京ランドオペレーターファムトリップ | | | 2020(令和2)年 | 9月 |
| (カ) フランス語の関西版ガイドブックにかかるファムトリップ(関西観光本部) | | | 2020(令和2)年 | 10月 |
| (キ) シンガポール旅行AGT「Follow me Japan(フォロミージャパン)北海道支社」ファムトリップ | | | 2020(令和2)年 | 10月 |
| (ク) シンガポール向けインフルエンサー ファム(中部運輸局・東海地区外国人観光客誘致促進協議会) | | | 2020(令和2)年 | 11月 |
| (ケ) タイ向けインフルエンサー ファム | | | 2020(令和2)年 | 11月 |
| (コ) JAPAN ADVENTURE(日本政府観光局) | | | 2020(令和2)年 | 12月 |
| (サ) フランス旅行AGT 三重県バーチャルツアー+オンライン商談会 | | | 2020(令和2)年 | 12月 |
| (シ) ベトナム市場オンライン商談会(三重県) | | | 2021(令和3)年 | 1月 |
| (セ) 近畿日本鉄道「台湾宣伝パンフレット 春」(台湾旅行博覧会等) | | | 2021(令和3)年 | 2月 |
| ウ 観光施設解説板外国語併記の促進 | | | | 通年 |
| エ 海外向けNINJAプロモーションの推進 | | | | 通年 |

総括

コロナ禍においての日々変わるタイムリーな情報発信をホームページやSNSなど様々なツールで行うことができた。海外エージェント、メディアはもとより、海外においても三重県等と協力し商談会をオンラインで行い、コロナ後に向けた伊賀の情報発信が行えた。

3 観光行事の実施とイベントの企画及び支援

(1) 観光行事の実施(主催事業)			
ア 忍者供養回向(忍者博物館職員のみ)	伊賀流忍者博物館	2020(令和2)年	4月
イ 伊賀越鍵屋辻法要			【中止】
(2) 誘客事業・イベントの企画(主催 共催)			
ア だんじり会館 新春絵馬作製イベント	だんじり会館	2021(令和3)年	1月
イ 「忍者の日」キャンペーン	日本忍者協議会	2021(令和3)年	2月
ウ 甲賀伊賀忍者ゆかりの地を巡る	伊賀市観光まちづくり協会・伊賀上野観光協会	2021(令和3)年	2月
エ 伊賀上野 謎解きミステリー紀行 幻の忍者殺人事件			【中止】
オ 伊賀流忍術指南道場(場所:敢国神社ほか)			通年
カ 伊賀・津・松阪・鳥羽城郭めぐりスタンプラリー			通年
	※伊賀上野・津・松阪・鳥羽・亀山の観光協会で実施		
キ 伊賀市プレミアム付商品券事業	伊賀市プレミアム付商品券事業実行委員会		通年
ク 名鉄観光リアル謎解きゲーム「マチ探」	名鉄観光サービス㈱ 上野商工会議所 (一社)伊賀上野観光協会		通年
ケ 忍者変身処	だんじり会館		通年
コ 伊賀忍者回廊 伊賀忍者ゆかりの神社仏閣御朱印めぐり			通年
サ 忍者おみくじ(敢国神社、愛宕神社)			通年
(3) 事業・イベント支援(後援 協力)			
ア 伊賀上野NINJAフェスタ	伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会		通年
イ 伊賀焼陶器まつり	伊賀焼陶器まつり実行委員会		【中止】
ウ 第74回芭蕉祭	伊賀市・(公財)芭蕉翁顕彰会	2020(令和2)年	10月
エ 「伊賀上野灯りと忍びの城下町」	上野商工会議所	2020(令和2)年	10月
オ 菊花展	三重菊花芸術協会	2020(令和2)年	10月
カ IGAGOEプレイイベント	(一社)大山田温泉福祉公社 伊賀トレイルランナーズクラブ	2020(令和2)年	11月
キ 2020忍者の里伊賀上野シティマラソン オンライン変わり身の術編	伊賀市	2020(令和2)年	11月
ク 答えてラッキー！スマホでみえ得キャンペーン	みえ観光の産業化推進委員会		通年
ケ 歴史まちづくりカード配布(伊賀上野インフォメーションセンター)	国土交通省中部地方整備局		通年
コ 国登録文化財ヘリテージカード配布(伊賀市観光案内所)	(一社)三重県建築士会伊賀支部		通年

総括

恒例の主催行事やまちづくり・観光関連団体との共催・協力など例年からは大きく事業数は減少したがコロナ対応を行い様々な取り組みを行った。そして「伊賀市プレミアム付商品券事業」に参画し、職員の派遣や窓口販売を行うなど地域の貢献事業も行った。また、「マチ探」など教育旅行(学校団体)の需要が増えその受け入れを行った。

4 観光事業の調査研究及び観光情報の収集・発信

(1) 伊賀上野観光インフォメーションセンターの設置		通年
(2) 会員ネットワーク構築による連携強化		通年
(3) 委員会の設置		通年
(4) 伊賀地域内の観光振興団体との連携強化		
(5) 伊賀地域のまちづくり団体との交流		通年

総括

観光案内業務を中心に窓口、電話対応、また会員からの情報提供や伊賀地域内の観光振興団体等との連携により多方面への発信を行った。

5 観光事業従事者の資質向上と地域リーダーの育成

- | | | |
|--------------------------------------------|------------|----|
| (1) 学芸員の資格取得 | | 通年 |
| (2) 伊賀学検定 | 2020(令和2)年 | 2月 |
| (3) その他セミナー、講習会参加 | | 通年 |
| ・地域の観光人材のインバウンド対応能力強化研修【観光庁支援事業・伊賀上野DMO主催】 | 2020(令和2)年 | 2月 |

総括

伊賀学検定の受験支援、またコロナ後を見据えたインバウンド対応の為、研修会を開催し観光関係者・スタッフの人材育成に努めるとともに個人・組織・観光事業従事者の資質向上に努めた。

6 観光客の受入・おもてなしの推進

- | | | |
|-------------------------|-------------|--------------|
| (1) 観光客受入事業 | | |
| ア まちかど観光案内所 | 【資料3 13ページ】 | 通年 |
| イ 忍者変身処 | 【資料6 16ページ】 | 通年 |
| ウ モバイルWi-Fiルーターレンタル事業 | | 通年 |
| エ フリーWi-Fiスポットの設置 | | 通年 |
| オ ばったり床几の設置【新設は終了】 | | |
| (2) おもてなし啓発事業 | | |
| ア いがうえの語り部の育成 | | |
| 案内 | | |
| (ア) 一般からの要請による案内 | 【資料5 15ページ】 | 通年 |
| (イ) 催事への協力 | | |
| ○芭蕉祭定点案内(菘虫庵・芭蕉翁生家) | 2020(令和2)年 | 10月 |
| ○歴史街道観光ボランティア定点案内(俳聖殿前) | 2020(令和2)年 | 10月
～ 11月 |
| イ 研修等 | | |
| (ア) 実地研修 | | 通年 |
| (イ) 伊賀学検定 | 2021(令和3)年 | 2月 |

総括

観光客受入事業では市内店舗を中心とした「まちかど観光案内所」「フリーWi-Fiスポット」の設置など観光客の受け入れ態勢の整備を継続して実施した。おもてなし啓発事業では、「語り部」の育成やスキル向上、観光客の受け入れ体制の強化に関して語り部団体へのサポートを行った。

7 地域文化・天然資源の継承と文化的地域特性の創造

- | | | |
|------------------------------------------------|------------|-----|
| (1) 伊賀流忍者博物館の施設機能の充実 | | |
| ア 学芸員の育成 | | 通年 |
| イ 忍術関連資料の充実 | | 通年 |
| ウ 特別展スペースの確保と備品の購入 | | 通年 |
| エ 施設整備 | | 通年 |
| (2) 三重大学 伊賀連携フィールド 忍者文化協議会 | | 通年 |
| ア 国際忍者研究センター | | 通年 |
| イ 国際忍者学会 | | 通年 |
| (3) 各種団体の協力 | | 通年 |
| 【視察受入】・中部運輸局 ・財務省東海財務局 津財務事務所ヒアリング | | |
| 【教育関係受入】・学校法人菊武学園 名古屋経営短期大学(オンライン) ・関西大学人間福祉学部 | | |
| 【意見交換会】立憲民主党三重支部 | | |
| (4) その他 | | |
| ア だんじり会館無料入館事業(実績:合計1,105人 内訳 大人:864人・小人:241人) | 2020(令和2)年 | 10月 |

総括

伊賀流忍者博物館の充実や三重大学伊賀連携フィールドへの協力、そして「伊賀上野」の文化、歴史や現在の協会の取り組みなどを、視察・研究を行いたいと各種団体からの要望により受け入れ・協力を行った。
今年度は、コロナにより「上野天神祭のダンジリ行事」の中止決定もあり、だんじり会館の無料入館事業を行い市民を含め多くの方の受け入れを行った。

8 地場産品の商品開発と販売促進

- | | | |
|----------------------|-------------|----|
| (1) だんじり会館(地場産買物処) | 【資料6 16ページ】 | 通年 |
| (2) 伊賀流忍者博物館(NINJA坊) | 【資料6 16ページ】 | 通年 |

総括

各施設の特性に応じた販売方法や環境を整え、地場産品の各個店のアンテナショップ的な役割を果たすほか、施設の収益力・魅力アップを図っている。

9 観光関連機関との連携強化

- | | |
|--------------|----|
| (1) 公益団体との連携 | 通年 |
|--------------|----|

ア 三重県

- (ア) 三重県外国人観光客誘致促進協議会
- (イ) 三重県東京事務所(三重美し会)・関西事務所ほか
- (ウ) リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会
- (エ) 三重県営業本部地域別懇談会 ほか

イ 伊賀市

- (ア) 伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会
- (イ) 伊賀市国際交流協会
- (ウ) 伊賀市さくらの会
- (エ) 伊賀鉄道活性化協議会
- (オ) JR関西本線電化を進める会
- (カ) 伊賀ブランド推進協議会
- (キ) 伊賀市地域公共交通活性化再生協議会
- (ク) いがぶら実行委員会
- (ケ) うえのまちまちづくり協議会
- (コ) 伊賀上野シティマラソン実行委員会
- (サ) 伊賀山城南定住自立圏共生ビジョン策定委員会
- (シ) お城の周りライトアップ実施委員会
- (ス) 伊賀市総合計画審議会
- (セ) 「忍びの里 伊賀」創生プロジェクト会議
- (ソ) 上野城新能実施委員会
- (タ) 伊賀上野・城下町のおひなさん実行委員会
- (チ) 伊賀市人権学習企業等連絡協議会 ほか

ウ 公益社団法人日本観光振興協会

エ 公益社団法人三重県観光連盟

- (ア) 会長が理事職
- (イ) 事務局員が企画宣伝委員会委員
- (ウ) おもてなし三重ボランティアガイド連絡協議会

オ 全国京都会議

カ 三重県博物館協会

キ 上野商工会議所

- (ア) 伊賀学検定実施委員会
- (イ) 上野天神祭地域振興実行委員会
- (ウ) 市民夏のにぎわいフェスタ2020実施委員会
- (エ) 観光部会・NAVIGA ほか

ク 伊賀市中心市街地活性化協議会

ケ 株式会社まちづくり伊賀上野

コ 公益財団法人芭蕉翁顕彰会

サ 公益財団法人伊賀文化産業協会

シ 一般社団法人大山田温泉福祉公社

ス 三重大学

- (ア) 三重大学伊賀連携フィールド ほか
(国際忍者研究センター・国際忍者学会)

セ 全国グリーンツーリズム協議会

ソ 名阪国道及び国道25号線整備促進期成同盟会

タ 伊賀地区職域防犯連合会

チ 伊賀市防火協会

ツ 川上ダム地域連携PT会議

テ テロ対策伊賀パートナーシップ ほか

- 広域連携 ト 甲賀市・甲賀市観光協会・信楽町観光協会
 ナ 伊賀流忍者観光推進協議会
 ニ (伊賀市・名張市・伊賀上野観光協会・名張市観光協会・三重県・三重大学伊賀連携フィールド)
 ヌ 上野観光連盟(東京都台東区)
 ネ 日本忍者協議会
 ノ 中伊勢温泉郷観光推進協議会
 ハ 忍びの里伊賀甲賀忍者協議会
 ヒ (伊賀市・甲賀市・伊賀市教育委員会・甲賀市教育委員会
 ・伊賀上野観光協会・甲賀市観光協会・信楽町観光協会)
 フ 伊賀上野観光協会・津市観光協会・松阪市観光協会・鳥羽市観光協会・亀山市観光協会
 ヘ 歴史街道推進協議会 ほか

(2) 観光エージェントとの連携

- ア 観光券取扱業務の推進
 イ JTB等の誘客促進会に入会

通年

総括

本協会の特性を生かし多様な関係者と連携を図り、その運営や事業に参画・協力を行った。

10 観光施設の指定管理業務と観光案内所業務の受託、および施設管理

- | | | |
|-----------------------|------------------------|----|
| (1) 伊賀流忍者博物館 | 【資料2 11ページ】【資料6 16ページ】 | 通年 |
| (2) だんじり会館 | | 通年 |
| (3) 伊賀伝統伝承館 | | 通年 |
| (4) 伊賀市観光案内所(ハイトピア1F) | | 通年 |
| (5) 上野公園観光案内所 | | 通年 |

総括

伊賀流忍者博物館を自主運営し、その収益により観光振興事業を行っている。また、伊賀伝統伝承館では伊賀の伝統的工芸品及び伊賀市の観光振興を図る目的で開設し、運営管理のサポートを行っている。だんじり会館については、効率的な施設管理を行い、観光協会の事業と一体的な観光推進事業を行うよう努めるほか、観光案内所業務を効率的に行うよう務めた。

11 支部への支援

- | |
|----------------------|
| (1) 島ヶ原支部 語り部育成 |
| (2) 阿山支部 忍びの国回廊事業 |
| (3) 伊賀支部 語り部育成 |
| (4) 大山田支部 忍者の里巡り事業 |
| (5) 青山支部 青山地域情報収集事業 |
| (6) 協会統合 ホームページ統合 ほか |

総括

各エリアの現地情報の収集と連携強化を図り、地域の特性を活かした観光振興事業を行った。また、HPの統合管理や広域周遊に向けた統合事業を実施した。

12 日本版DMO法人の認定とその事業の推進

- | | |
|---------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| (1) スマホアンケートシステムを利用したDMO認定に必要な数値データの取得とそのシステムの活用 | 通年 |
| ア KPIデータの収集(スマホアンケートシステムを活用してのアンケート調査) | |
| ※令和2年4月1日～令和3年3月31日まで 収集件数:3,416件 メールアドレス取得件数:2,091件 | |
| ※令和元年度分までの調査内容はDMOホームページで公開 | |
| イ DMO登録を目指す他団体へのシステム有償提供
(東奈良名張ツーリズムマーケティング、(一社)森の京都DMO、信楽町観光協会、(一社)松阪市観光協会) | |
| (2) 観光庁(国)ほか支援メニューの取り組み | |
| ア 観光庁「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業 | 2020(令和2)年8月～ |
| (「IGA NINJA WEEK2021」実施 : 城下町アプリ・忍者道場・謎解きツアー等) | 2021(令和3)年3月 |
| イ 多言語解説整備支援事業 | |
| ウ 地域の観光人材のインバウンド対応能力強化研修(観光庁支援事業) | 2021(令和3)年2月25日 |
| エ JNTO観光案内所認定 ほか | 通年 |

- (3) DMO推進・合意形成の取り組み
- ア DMO推進会議
- ・伊賀上野DMOトップ会議 2020(令和2)年10月29日
 - ・伊賀上野DMO推進プロジェクトチーム会議 通年
 - ・伊賀上野DMO担当者ワーキング会議 通年
- イ 合意形成
- ・DMO情報共有懇談会 2020(令和2)年11月24日
 - 参加者:38人(35団体)
 - 2019年度マーケティング報告 報告者:伊賀上野DMOアドバイザー 平順一郎 氏
 - 講演:旅行以上 移住未満「ふるさとシェアリング」 講演者:(株)インプリージョン 小田切 聡 氏
 - 都市とローカルをつなぐマッチングサービス
- ウ DMOホームページの開設 (<https://dmosupport.com/>)
- (4) 日本版DMO法人 登録認定(令和2年3月31日)
- ア 伊賀市長への報告会 2020(令和2)年4月20日
- (5) DMO推進事業
- ア 観光情報誌制作業務
- ・伊賀市じゃらん 50,000部 2021(令和3)年3月
 - ・特集版差込用情報誌 20,000部 2021(令和3)年3月
- イ 観光まちづくり企画塾(第2期)
- ウ 心・技・体 伊賀忍者道場
- エ 忍者市旅得キャンペーン
- オ 予約システムの運用 ほか
- (6) 各種団体の協力
- 【視察受入】・明宝地域経営企画会議(岐阜県)

総括

主要観光施設・宿泊施設等の設置協力によりお客様によるスマホアンケート調査を実施し、様々なデータ収集、KPIの数値目標の設定を行った。また市内の多様な関係者との合意形成情報共有懇談会等を開催し、取り組み内容・調査結果の情報共有、事業の実施により「登録DMO」認定となった。その事によりDMOの組織体制の見直しや、コロナ対応を行った上で効果的なDMO推進事業を行った。

13 会議

- (1) 定時社員総会
- ア 2019(令和元)年度決算 2020(令和2)年6月26日
- (2) 理事会
- ア 2019(令和元)年度決算 2020(令和2)年6月16日
- イ 2021(令和3)年度予算 2021(令和3)年3月25日
- (3) 監事会
- ア 令和元年度決算 2020(令和2)年6月9日
- (4) 正副会長会議
- ア 正副会長会議 2020(令和2)年4月16日
- イ 正副会長会議 2020(令和2)年7月30日
- ウ 正副会長会議 2020(令和2)年10月20日
- エ 正副会長会議 2021(令和3)年2月3日
- (5) 支部長会議 2020(令和2)年8月25日
2021(令和3)年3月16日
- (6) その他会議 通年

総括

定時社員総会をはじめ各種会議を開催し、組織の方向性や事業の検討を適切に協議・審議した。